

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

管内では、主要産業である電子部品・電子機械器具製造業において一般求人の提出がなく、求人倍率の低下が続いています。令和6年度の有効求人倍率は0.97倍と前年度比でわずかに改善しましたが、求人数・求職者数ともに減少傾向にあります。

このような状況を受け、ハローワーク川内では以下のような支援を強化しました。

【求職者支援】

○職員・非常勤職員への細かい個別指導やロールプレイなどを取り入れた実践的な研修などを実施して、窓口での相談支援の質の向上に取り組みました。

○高齢者・子育て世代向けのセミナーをサテライト会場としてハローワーク出水・宮之城でオンライン開催することにより、地理的に受講が困難な地域での受講を可能にしました。

○求職者マイページを活用し、求人情報やイベント案内を積極的に提供しました。

○マザーズコーナー・生涯現役支援窓口など専門窓口による個別支援や、子育て支援求人・60歳以上専用求人など専用求人の確保に取り組み、マザーズ層・高齢層などを手厚く支援しました。

【求人者支援】

○会社説明会を開催して、企業の魅力を直接求職者に発信する機会を提供しました。また、説明会終了後に事業所担当者と意見交換を行い、事業所情報を収集するとともに、求職者ニーズに合った魅力ある求人票作成などを支援しました。

○介護・福祉および土木・建設分野では、現場が抱える課題に対して各事業所が工夫を凝らした取り組みを行っています。ハローワークでは、事業所訪問を通じて把握したこれらの取り組み内容を「事業所コンタクト情報」として掲示し、求職者へ情報発信を行いました。

○「人手不足等求人」コーナーを新設し、求職者の目に留まりやすいように工夫しました。

○地元企業のPR動画を待合スペースで放映し、企業の魅力発信を支援しました。

※ 地域の雇用環境改善に向けて、ハローワーク川内は今後も求職者・求人者双方への支援を充実させます。

(2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

【求職者・求人者マイページの活用促進とリモート対応の取組】

令和6年度、**求職者マイページの利用率は38.7%**と前年度（32.1%）から改善しました。特に44歳以下の利用率は54.4%と高い一方で、高齢層の利用は依然として低く、課題が残っています。新規求職者にはマイページ開設を積極的に勧奨し、職業相談時にも開設状況を確認するなど、利用促進に取り組みました。

一方、前年度、求人者マイページの利用率は目標を達成できませんでした。特に、出張所管轄の事業所での利用が進んでいないことが主な要因と考えられました。この状況を受けて、求人者支援員が事業所を直接訪問し、求人者マイページのメリットや操作方法について説明を行い事業所担当者の習熟度向上を図りました。その結果、令和6年度には求人者マイページの利用率が85.0%に達し、目標を達成することができました。

また、甕島振興局からの要望に応え、再就職決定時の手続きを原則リモート対応とする方針を決定しました。窓口の状況により即時対応が困難な場合は、従来通り書面での認定を行うこととしています。

(3) その他の業務運営についての分析等

【生活保護受給者等就労自立促進事業】就職率：86.5%（目標66.7%）

薩摩川内市など関係機関との連携により目標を大きく上回る成果を達成しました。運営協議会の開催や四者面談・巡回相談を通じて、支援対象者の就職を積極的に支援しました。今後も連携強化を継続していく予定です。

【障害者の就職件数】実績：197件（目標209件）

関係機関などと連携し、障害特性に応じた丁寧な対応を実施しました。目標には届きませんでしたが、令和4年度実績（167件）を上回る結果となりました。障害者雇用率未達成企業への指導や啓発も継続して実施します。

【新規卒業予定者等の正社員就職件数（ナビゲーター支援）】実績：163件（目標253件）

若年求職者の減少やハローワーク離れが影響がみられます。教育機関との連携を強化し、若年層への周知を地道に継続する必要があります。利用者が「またハローワークを利用したい」と思えるサービス提供を目指します。

【就職氷河期世代の正社員就職件数】実績：194件（目標212件）

職場見学・体験の案内やサポステとの連携を通じて支援を実施しました。求人確保や特設ページの周知など、今後も支援メニューの充実と利用促進が課題となっています。

【公的職業訓練修了後3ヶ月以内の就職件数】実績：117件（目標115件）

関係機関と連携し、訓練修了者の就職支援を強化し目標を達成しました。ただし、介護関係の職業訓練などでは受講希望者が定員に達しないため開講が困難なケースもあり、人手不足分野でもある介護の職業へ関心を高める取り組みが課題となっています。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

【オンライン職業相談・紹介の活用】
現在、オンライン職業相談は甕島求職者のみを対象に実施していますが、新卒者やマザーズ層など一般求職者への利用促進が今後の課題です。川内市医師会地域医療会議において、民間紹介事業所と比較してハローワークのオンライン紹介サービスは利便性が劣るとの指摘があり、オンライン紹介・通信紹介・自主応募などのサービスの周知と利用促進が求められています。

【求人者支援の確実な実施】
会社説明会では、求人内容の充実や求人条件緩和の提案など一定の成果が見られていますが、求人者支援の実施にばらつきがある状況です。今後は、求人者支援マニュアルに基づいた対応を徹底し、支援の質と一貫性の向上を図る必要があります。

2. 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職割合	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	⑧人材不 足分野の 就職件数	⑦マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	⑨生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率					
令和6年度目標	2,740	2,500	37.3%	90.0%	95.0%	825	96.0%	83.5%					
令和6年度実績	2,378	2,093	36.1%	80.8%	92.7%	747	96.8%	93.5%					
目標達成率	86%	83%	96%			90%	100%	111%					

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。